

2013 年度日本線虫学会大会（第 21 回大会）プログラム

◇ 9 月 5 日（木） 9:30～20:00

9:30～12:00 一般講演（口頭発表）

（座長：上杉謙太）

9:30-9:45 101 ○串田篤彦（北農研） 線虫群集中のネグサレセンチュウおよびネコブセンチュウ種を一遍に把握する方法

9:45-10:00 102 ○澤村信生・山本 淳（島根農技セ） 島根県におけるボタンのイチゴセンチュウの発生状況について

10:00-10:15 103 ○武田 藍・加藤正広（千葉農林総研） 輸出用植木の生育中薬剤灌注処理によるオオハリセンチュウ密度低減効果

10:15-10:30 104 ○Toyota, K.¹・Min, Y. Y.² (1Tokyo Univ. Agr. & Tech., ²Yezin Agr. Univ.) Major plant parasitic nematodes in rice fields in Myanmar and possible damage to yield

10:30-10:45 休憩

（座長：水久保隆之）

10:45-11:00 105 ○Gaspard, J., Yamane, I. (Nematenken Co. Ltd.) A centrifuge sugar-flotation method for cysts and *Hirschmanniella* sp. nematode extraction from soil

11:00-11:15 106 ○井関 崇（横浜植防）日本産 *Hirschmanniella* 属線虫の遺伝子調査

11:15-11:30 107 ○高木素紀¹・齋藤望奈¹・鹿島哲郎¹・佐藤泰三²・沢田英司³・豊田剛己⁴（¹茨城農総セ・園研・²徳島農総セ・農研・³徳島農総セ・⁴東京農工大）茨城県のレンコン田における太陽熱土壌消毒によるレンコンネモグリセンチュウ防除の可能性

11:30-11:45 108 ○對馬由記子¹・山下のぞみ²・内藤 誠³・山下一夫¹（¹青森産技セ野菜・²青森三八県民局・³青森産技セりんご）ニンニクほ場におけるイモグサレセンチュウ防除のための土壌消毒と深耕の効果

11:45～13:00 昼食・休憩

13:00～13:45 総会

14:00～15:15 一般講演（口頭発表）

（座長：北上 達）

14:00-14:15 109 ○荒城雅昭（農環研） 大型ポット試験による耕起・不耕起，作物栽培など圃場管理方法が土壤線虫相に及ぼす影響の解明ー各種カバークロップの影響

14:15-14:30 110 ○上杉謙太¹・立石 靖²・岩堀英晶¹（¹九州沖縄農研・²農林水産技術会議）
パリセードグラス MG5 を利用したミナミネグサレセンチュウの密度抑制

14:30-14:45 111 ○植原健人・水久保隆之（中央農研） ナス台木品種等に対するネコブセンチュウの寄生程度（予報）

14:45-15:00 112 ○渡邊貴由・紀岡雄三・野口勝憲（片倉チッカリン株） *Purpureocillium* 属線虫卵寄生菌の培養物施用によるピーマン栽培土壌のサツマイモネコブセンチュウ密度および根こぶ指数への影響

15:00-15:15 113 ○宮下奈緒^{1,2}・中永里美²・畑森 望²・柴田涼子²・藪哲 男¹・能登洋樹²・古賀博則²（¹石川農林総研・²石川県立大） エンドファイト共生トールフェスクとの混植によるトマトのネコブセンチュウ防除

15:30~17:40 特別講演

「生物資源を利用した、線虫をはじめとする病害虫の防除」

（座長：岡田浩明）

15:30

S-1 生物資源を利用した植物寄生性線虫類の環境配慮型防除に関する研究

田場 聡（琉球大）

16:05-16:40

S-2 昆虫寄生性 *Lecanicillium* 属菌によるダイスシストセンチュウの被害抑制

小池正徳（帯広畜産大）

16:40-16:50 休憩

16:50

S-3 複雑な微生物生態系が内包する動的な力を作物の土壌病害防除に生かす試み

横山和成（中央農研）

17:25

総合討論

18:00~20:00 懇親会

◇ 9月6日（金）

9:30~12:00 午前の部 一般講演（口頭発表）

（座長：串田篤彦）

9:30-9:45 201 ○東岱孝司¹・田澤暁子²（¹道総研中央農試・²道総研十勝農試） ダイズシスト
センチュウ抵抗性アズキ遺伝資源栽培による密度低減効果（予報）

9:45-10:00 202 ○奈良部孝¹・谷野圭持²・副島 洋³（¹北海道農研・²北大院・³雪印種苗） ジ
ャガイモシストセンチュウ卵の生死判別ツールとしてのふ化促進物質の利用

10:00-10:15 203 ○大胡聖嗣¹・菊地泰生²・小倉信夫³（¹住化グリーン(株)・²宮崎大・³明治大）
日本産ヨモギツブセンチュウの ITS1-5.8S rDNA-ITS2 領域の塩基配列に基づく個体群解析

（座長：竹内祐子）

10:15-10:30 204 ○Kanzaki, N. (FFPRI) Phylogenetic and taxonomic relationship among the
genera belonging to subfamily Parasitaphelenchinae (Aphelenchoididae)

10:30-10:45 205 ○真宮靖治 マツノザイセンチュウ分散型 4 期幼虫のモノテルペン類に対する
反応

10:45-11:00 206 ○相川拓也¹・神崎菜摘²・前原紀敏¹（¹森林総研東北・²森林総研） マツノザ
イセンチュウの病原力と ITS-RFLP パターンとの関係

11:00~11:15 休憩

（座長：菊地泰生）

11:15-11:30 207 ○加藤徹朗¹・二井一禎¹・竹内祐子¹（¹京都大） マツ材線虫病における細菌
相の種構成とその局在

11:30-11:45 208 Vicente, C.^{1,2}・○幾代以子¹・Mota, M.²・長谷川浩一¹（¹中部大・²エボラ大）
酸化ストレス条件下におけるマツノザイセンチュウと随伴細菌との関係

11:45-12:00 209 Vicente, C.^{1,2}, Ikuyo, Y.¹, Shinya, R.^{1,3}, Mota, M.², ○Hasegawa, K.^{1*} (¹Chubu
Univ., ²Univ. Évora, ³Caltech) Correlation between virulence and oxidative stress response of the
pine wood nematode *Bursaphelenchus xylophilus* and *B. mucronatus*.

12:00~13:00 昼食・休憩

13:00~14:00 ポスターセッション

13:00-13:25 奇数番号コアタイム

13:25-13:50 偶数番号コアタイム

13:50-14:00 自由時間

P1 ○岡田浩明¹・酒井英光¹・常田岳志¹・臼井靖浩¹・中村浩史²・長谷川利拓¹ (¹農環研・²太陽計器) CO₂濃度と窒素肥料が水田の線虫群集に及ぼす影響

P2 ○中里 岳・長田恭一・小倉信夫 (明治大) マツノザイセンチュウ分散型4期幼虫の生起に関わる物質の探索

P3 ○田中 克^{1*}・田中龍聖²・神崎菜摘²・竹内祐子¹ (¹京都大、²森林総研) 分散型誘導フェロモンに対するマツノザイセンチュウの応答

P4 ○Takeuchi, Y.^{1,2}, McGawley, E.C.², Overstreet, C.², Plaisance, A.R.², Fellner, F.J.³ (¹Kyoto Univ., ²AgCenter, LSU, ³Office of Facility Service, LSU) Nematode Fauna Associated with Aerial Part of Trees Grown in South Louisiana

P5 ○Filipiak, A., Tomalak, M. (Natil. Res. Instit., Poland) Detection of the Quarantine Nematode, *Bursaphelenchus xylophilus* with the PCR-HRM Technique

P6 ○Juan Emilio Palomares-Rius¹・金子 彰²・田中龍聖^{1,3}・秋庭満輝³・竹内祐子²・菊地泰生^{1,3} (¹宮崎大・²京都大・³森林総研)

Whole genome resequencing and SNP detection toward understanding population structure and parasitism of *Bursaphelenchus xylophilus*

P7 ○Jason Isheng Tsai^{1,2}・丸山治彦¹・Mathew Berriman²・菊地泰生^{1,2} (¹宮崎大・²Wellcome Trust Sanger Inst.) Comparison of the genome assemblies of four Strongyloides species revealed high rearrangement rates in Strongyloides nematodes

P8 山口茉都香¹・○菊地泰生^{2,3}・田中龍聖^{2,3}・Juan Emilio Palomares-Rius^{2,3}・小倉信夫¹ (¹明治大・²宮崎大・³森林総研) ヨモギツブセンチュウ *Subanguina moxae* のミトコンドリアゲノムシーケンスに基づく進化系統解析

P9 ○奥村悦子¹・小澤理香²・吉賀豊司³・竹内祐子¹ (¹京都大・²京都大生態研・³佐賀大) ベニツチカメムシ親子間での *Caenorhabditis japonica* 耐久型幼虫の選好性

14:00-14:15 休憩

14:15~16:30 午後の部 一般講演 (口頭発表)
(座長: 長谷川浩一)

14:15-14:30 210 ○Sriwati, R.¹, Jauharlina, J.¹, Afriyani¹, Takeuchi, Y.², Tanaka, R.³, Kanzaki, N.³

(¹Syiah Kuala Univ., Indonesia, ²Kyoto Univ., ³FFPRI) Nematodes associated with syconia of *Ficus racemosa*

14:30-14:45 211 ○西山英孝¹・肥田博隆²・戸高晃彦¹・江島千佳¹・相良知実¹・Bui Thi Ngan¹・澤進一郎¹ (¹熊本大・²神戸大) サツマイモネコブセンチュウに対する誘引忌避物質探索

14:45-15:00 212 ○豊島主峰・相良知実・光増可奈子・江島千佳・Bui Thi Ngan・澤進一郎 (熊本大) サツマイモネコブ線虫のエフェクタータンパク質の解析

15:00-15:15 213 ○藤本岳人¹・安部 洋²・水久保隆之³・瀬尾茂美¹ (¹生物研・²理研 BRC・³中央農研) スクラレオールを処理された植物におけるサツマイモネコブセンチュウ感染抑制メカニズムの解明

15:15-15:30 休憩

(座長：小坂 肇)

15:30-15:45 214 ○吉田睦浩¹・小長谷達郎² (¹九州沖縄農研・²筑波大) モンシロチョウ幼虫のシヘンチュウの寄生状況 (2012 年秋・2013 年春、つくば市西部) および飼育下での感染様式

15:45-16:00 215 ○田中龍聖^{1,2,3}・高梨琢磨¹・菊地泰生^{1,2}・神崎菜摘¹ (¹森林総研・²宮崎大・³学振特別研究員) 振動に対する線虫の反応性

16:00-16:15 216 ○小澤壮太¹・吉賀豊司²・神崎菜摘³・長谷川浩一¹ (¹中部大・²佐賀大・³森林総研) 外来種クログキブリ *Periplaneta fuliginosa* に寄生する Thelastomatida 科線虫の調査

16:15-16:30 217 ○佐藤一輝¹・吉賀豊司²・長谷川浩一³ (¹京都大・²佐賀大・³中部大) 線虫 *Caenorhabditis elegans* に備わる免疫機構には *Photorhabdus luminescence* TT01 に対して誘導されるものとされないものがある

※一般講演発表者の方へのお知らせ

1) 口頭発表の方

◎講演時間は、1 課題あたり 15 分 (予鈴 10 分、2 鈴 12 分、終鈴 15 分) です。時間厳守をお願いします。

◎必ず各人で自分の講演を確認し、記載に不備がある場合、あるいは要旨を送ったのに記載されていないなどの場合は直ちに大会事務局まで連絡をお願いします。

◎講演用ファイルは用意する PC 上で動作確認の上、なるべく早く受け付けに記録メディア (CD-R のみ) をお渡し下さい。ファイル名は「101-Saga.ppt」のように「講演番号-発表者」として下さい。ファイルはいったんハードディスクにコピーしますが、大会終了後にすべて消去します。講演終了後にメディアは返却いたします。

◎動画を使用される方は、動画ファイルもコピーしたうえで慎重に動作確認を行うことが必要です。受付時にお申し出ください。

2) ポスター発表の方

◎横 90 cm×縦 150 cm に収まるようにお願いします。

6 会場までのアクセス

1) 飛行機および新幹線利用の場合、福岡経由（福岡空港または JR 博多駅経由）が便数も多く、アクセスしやすいです。

◇福岡からのバスでのアクセス（福岡空港、博多バスターミナル、西鉄天神バスセンターから）

- ・唐津行きの昭和バス（からつ号）に乗車し、唐津バスセンター（大手口）で下車。
- ・福岡空港から約 1 時間 50 分（1,200 円）

http://www.rakubus.jp/rosen/fko_krt_ybk.html

◇福岡から電車でのアクセス（福岡空港、博多駅、地下鉄天神駅から）

- ・唐津または西唐津行きの地下鉄に乗車し、唐津駅で下車。大手口センタービルまで約 500 m（徒歩 6 分）。
- ・福岡空港から約 1 時間半（1,140 円）

2) 車での来場

車で来られる方で長時間駐車される方は、市営有料駐車場（南城内駐車場）、唐津駅西駐車場などをご利用下さい。

7 大会事務局

大会についてのご質問・ご要望がありましたら、下記の大会事務局まで、お知らせください。

〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地

佐賀大学農学部線虫学分野内

第 21 回日本線虫学会大会事務局

代表 吉賀豊司

Tel & Fax : 0952-28-8746

E-mail : tyoshiga*cc.saga-u.ac.jp

*既に申し込み期日は過ぎていますが、大会、懇親会ともまだ席に余裕がありますので、検討をされている方は是非ご参加下さい（大会参加費 3,000 円、懇親会費 4,000 円）。当日受付も可能ですが、これから参加希望の方は資料準備の都合上できるだけ事前に、メール等で参加者名と所属を事務局までお知らせください。